室町時代

名前

問1　室町時代の有力な農民たちが中心となって形成した「惣」と呼ばれる村の自治組織について、その活動内容や目的として正しい説明はどれですか。（2020年 愛媛県公立入試 類似）

1. 都市に住む有力な商人が、幕府から特定の商品の独占販売権を得るために組織した利益団体であった。
2. 室町幕府から派遣された武士の指揮の下で、農作業の計画や年貢の取り立てを厳格に行うための補助組織であった。
3. 仏教の特定の宗派を信仰する人々だけが集まり、宗教行事を行うためだけに作られた村外の組織であった。
4. 水路の管理や村の掟の制定を自ら行い、時には領主に対して年貢の減免などを求めて団結して交渉した。

問2　室町時代、商人や手工業者が公家や寺社などの権力者に税を納めることで結成した同業者組織を何といいますか。（2026年 山形県公立入試 類似）

1. 株仲間
2. 問丸
3. 座
4. 惣

問3　古くから大陸との玄関口であった九州北部のこの都市は、室町時代には明との貿易で大きな利益を上げ、堺と並んで富裕な商人たちが合議によって市政を運営する自治都市として栄えた。この都市の名称はどれか。（2017年 北海道公立入試 類似）

1. 博多
2. 那覇
3. 坊津
4. 堺

問4　室町時代の歴史を記した年表において、応仁の乱などの戦乱が続く社会情勢の中で、近畿地方などの農村で農民たちが自衛や灌漑（かんがい）施設の管理を行うために結成した自治組織を何と呼びますか。（2017年 静岡県公立入試 類似）

1. 株仲間
2. 座
3. 五人組
4. 惣

問5　後醍醐天皇が行った「建武の新政」が、わずか数年で失敗に終わり、足利尊氏による室町幕府の成立へとつながった背景として、最も適切な説明を選びなさい。（2025年 岐阜県公立入試 類似）

1. 全国に守護・地頭を設置する政策が、地方の豪族から反発を受けたため。
2. キリスト教の布教を認めたことで、仏教勢力との激しい対立が起きたため。
3. 公家を重視する政策をとったことで、生活を脅かされた多くの武士の不満を招いたため。
4. 遣唐使を廃止して国風文化を推進したことが、大陸との貿易を望む商人の反対に遭ったため。

問6　室町時代の文化は、足利将軍家の保護を受けただけでなく、次第に民衆の間にも広まりを見せました。この時代に成立した「御伽草子」に共通する特徴として最も適切な説明を、次のうちから選びなさい。（2020年 千葉県公立入試 類似）

1. 身近な庶民を主人公とし、挿絵が添えられた物語として広く親しまれた。
2. 武士の合戦の様子を琵琶の伴奏に合わせて語り継ぐために作成された。
3. 遣唐使の廃止に伴って成立し、日本独自の四季や生活を優雅に表現した。
4. 浮世絵をふんだんに取り入れ、町人の華やかな生活や恋愛を風刺的に描いた。

問7　山城国一揆において、地域の武士や農民が守護大名を追放した後に成立した「自治」の仕組みや目的について述べた文として、背景を含めて正しく説明しているものはどれですか。（2022年 愛媛県公立入試 類似）

1. 戦乱によって荒廃した地域を立て直すため、身分を超えて団結し、集会を通じて裁判や徴税を自ら運営した。
2. キリスト教の信仰を軸として領主の圧政に抵抗し、信者同士の平等な共同体を築くことを目的とした。
3. 海外との貿易権を独占するために有力な商人たちが都市を形成し、堺のような自由都市の運営を目指した。
4. 幕府の命令に従わない守護大名を処罰するため、将軍の許可を得て一時的に地域の統治権を代行した。

問8　14世紀末から15世紀前半にかけて、日本と明との間で国交が樹立され貿易が始まった時期の対外関係の状況について説明した文として、最も適切なものはどれですか。（2026年 熊本県公立入試 類似）

1. 朱印状を持った貿易船の増加に伴い、沿岸部での海賊行為がより激しくなった。
2. 南蛮貿易の開始によって海賊の取り締まりが不要になり、倭寇の活動が沈静化した。
3. 明からの要求を受けて倭寇の取り締まりが進められ、海賊の活動回数が激減した。
4. 明との貿易が全面的に禁止されたため、私的な密貿易を行う倭寇の活動が急増した。

問9　琉球王国が行った貿易の歴史的な状況について述べた文章として、最も適切なものはどれですか。当時のアジアにおける各国の交流状況をふまえて選びなさい。（2024年 宮城県公立入試 類似）

1. 明への貿易頻度が日本よりも高いことを利用し、東南アジアの香料などを明に送り、明の生糸などを日本に届ける役割を果たした。
2. 日本国内の戦乱によって途絶えた明との貿易を完全に代行するため、日本産の銀のみを中国に輸出する独占的な立場を築いた。
3. 明からの自立を宣言するために朝貢貿易を拒否し、東南アジアの国々とだけ独自の自由貿易圏を形成した。
4. 江戸幕府の鎖国政策が始まったことで、それまで行っていた東南アジア諸国との貿易をすべて停止し、明との貿易に専念した。

問10　室町時代に足利義満が本格化させた日明貿易（勘合貿易）において、日本が明から大量に輸入し、当時の国内で通貨として広く流通した品物として正しいものを、次の中から選びなさい。（2021年 大阪府公立入試 類似）

1. 硫黄
2. 刀剣
3. 銅銭
4. 生糸

問11　室町時代に足利義満が中国（明）との間で開始した貿易において、当時の海賊である倭寇と、幕府が認めた正式な貿易船を区別するために導入された仕組みについて、正しい説明はどれですか。（2019年 奈良県公立入試 類似）

1.「勘合」と呼ばれる、二枚に分かれた札を照らし合わせることで、正式な船であることを証明した。
2.「朱印状」と呼ばれる、将軍の赤い印が押された渡航許可証を船に携帯させた。
3.「御朱印船」を派遣し、東南アジア諸国の港を経由することで安全を確保した。
4.「慶長小判」などの貨幣を支払うことで、明の役人から通行の許可を得た。

問12　室町時代に土一揆が頻発するようになった社会的な背景について、当時の組織の在り方に触れた説明として正しいものはどれですか。（2025年 秋田県公立入試 類似）

1. キリスト教の信仰のもとに農民が団結し、領主による宗教的な弾圧に抵抗したため
2. 農民たちが「惣」と呼ばれる自治組織を作り、村々が連携して要求を通す力を蓄えたため
3. 座と呼ばれる商人の組合が農民と協力し、特定の商品の独占販売権を幕府に認めさせたため
4. 守護大名が領地を広げるために、農民を兵士として組織して幕府を倒そうとしたため

問13　室町時代の農村では、有力な農民を中心とした自治組織がつくられ、水利の管理や村独自の掟の作成、年貢の納入などを共同で行いました。また、この時期には馬を用いて荷物を運ぶ陸上輸送の業者も活躍しました。これら自治組織の名称と、陸上輸送を担った業者の名称の組み合わせとして最も適切なものはどれですか。（2018年 千葉県公立入試 類似）

1. 自治組織は「座」と呼ばれ、陸上輸送業者は「馬借」と呼ばれた
2. 自治組織は「惣」と呼ばれ、陸上輸送業者は「問（問丸）」と呼ばれた
3. 自治組織は「座」と呼ばれ、陸上輸送業者は「問（問丸）」と呼ばれた
4. 自治組織は「惣」と呼ばれ、陸上輸送業者は「馬借」と呼ばれた

答え合わせ・解説

問1	答え 4 水路の管理や村の掟の制定を自ら行い、時には領主に対して年貢の減免などを求めて団結して交渉した。	惣（惣村）は、農民たちが自分たちの生活を守るために自発的に作った自治組織です。共通の資源である入会地（山林など）の管理や農業用水の分配を行うだけでなく、村の平和を維持するための「村掟」を定め、違反者を自分たちで処罰することもありました。また、領主による過酷な支配に対しては、村全体で年貢の軽減を求める強訴や、団結して戦う一揆（土一揆）を起こすなど、強い政治的交渉力を持っていました。
問2	答え 3 座	室町時代に発達したこの組織は、公家や寺社に税（冥加金など）を納める見返りとして、商品の独占的な販売権や、関所の通行税免除といった特権を認められていました。江戸時代に幕府の公認を得て活動した「株仲間」や、鎌倉時代から室町時代にかけて運送業を営んだ「問丸」との違いを理解しておくことが重要です。
問3	答え 1 博多	九州北部に位置し、中世において堺（現在の大阪府）と並ぶ代表的な自治都市として栄えたのは博多である。博多の商人は年行司と呼ばれ、都市の運営を主導した。堺も同様に会合衆による自治が行われたが、設問の「九州北部」という条件に当てはまらない。坊津（鹿児島県）も遣明船の寄港地であったが、都市の規模や自治の面で博多や堺と並び称される文脈では博多が適切である。
問4	答え 4 惣	室町時代の近畿地方などでは、農民が「寄り合い」を開いて村の掟（おきて）を定め、共同で村を運営する「惣」と呼ばれる組織が作られました。背景には、二毛作の普及や牛馬の利用、さらには備中ぐわなどの農具の改良による農業生産力の向上があり、農民が自立的な力を蓄えたことが挙げられます。
問5	答え 3 公家を重視する政策をとったことで、生活を脅かされた多くの武士の不満を招いたため。	後醍醐天皇は理想とする天皇親政を目指しましたが、土地の権利の承認や恩賞の配分において公家を優先し、武士の慣習を無視した過激な改革を行いました。これに失望した武士たちが、武家政治の再興を掲げた足利尊氏のもとに集まったことが、新政崩壊の決定的な要因となりました。
問6	答え 1 身近な庶民を主人公とし、挿絵が添えられた物語として広く親しまれた。	室町時代は、下剋上の風潮の中で実力をつけた庶民が文化の担い手となっていく過程にあります。御伽草子は、それまでの貴族中心の文学とは異なり、一寸法師や浦島太郎といった庶民にも馴染みのある登場人物を扱い、視覚的に分かりやすい「絵入り」であったため、階層を問わず広く普及しました。選択肢にある「合戦の様子」は軍記物語、「町人の生活」は江戸時代の文化、「日本独自の優雅な表現」は平安時代の国風文化の説明です。
問7	答え 1 戦乱によって荒廃した地域を立て直すため、身分を超えて団結し、集会を通じて裁判や徴税を自ら運営した。	山城国一揆の最大の特徴は、守護大名という外部勢力の介入を拒絶し、地域の武士や農民が自らの手で平和と秩序を維持しようとした点にあります。彼らは「三十六人衆」と呼ばれる代表者を選び、自分たちで掟（法）を定め、裁判や税の管理を行うなど、国家の機能を地域住民が代替する「自治」を行いました。これは室町時代後半の自立的な社会構造の変化を示しています。
問8	答え 3 明からの要求を受けて倭寇の取り締まりが進められ、海賊の活動回数が激減した。	明は国交樹立の条件として海賊である倭寇の排除を要求しました。室町幕府がこれに応じて取り締まりを行ったため、14世紀末から15世紀前半にかけて倭寇の活動回数は大きく減少しました。
問9	答え 1 明への貿易頻度が日本よりも高いことを利用し、東南アジアの香料などを明に送り、明の生糸などを日本に届ける役割を果たした。	琉球王国は明との「進貢貿易」において、日本などの他国に比べて非常に有利な条件を与えられていました。これを利用して、自国の産品だけでなく、東南アジア諸国の象牙や香料、日本の刀剣や扇などを集約し、明の高度な産品（生糸・陶磁器）と交換して各地へ流通させました。これが琉球王国の黄金時代を支える基盤となりました。
問10	答え 3 銅銭	室町時代の日本では、国内で独自の貨幣を鋳造していなかったため、経済の活発化に伴い不足した通貨を補う必要がありました。そこで、日明貿易を通じて明から大量の銅銭（永楽通宝など）を輸入し、これを国内の流通貨幣として利用しました。なお、硫黄や刀剣は日本からの主な輸出項目です。
問11	答え 1 「勘合」と呼ばれる、二枚に分かれた札を照らし合わせることで、正式な船であることを証明した。	室町時代、足利義満は明との国交を樹立し、日明貿易を開始しました。当時、沿岸部を荒らしていた倭寇（海賊）が大きな問題となっており、明は日本に対してこれを取り締まるよう強く要求しました。これに応じる形で、幕府は正式な貿易船であることを証明するために、割印のある「勘合（勘合符）」を持参させる仕組みを整えました。これにより、海賊船と公的な船を厳格に区別し、安全で確実な貿易を行うことが可能になりました。選択肢にある朱印状や御朱印船は、江戸時代初期の制度であるため混同に注意が必要です。
問12	答え 2 農民たちが「惣」と呼ばれる自治組織を作り、村々が連携して要求を通す力を蓄えたため	鎌倉時代から室町時代にかけて、農民は村ごとの自治組織である「惣」を形成しました。寄合を開いて村のルールを決めたり、用水の管理を行ったりすることで団結力が強まり、その組織力を背景に、領主への年貢の減免や幕府への徳政令の要求といった集団交渉（土一揆）が可能になりました。キリスト教による団結は後の島原・天草一揆などの特徴です。
問13	答え 4 自治組織は「惣」と呼ばれ、陸上輸送業者は「馬借」と呼ばれた	室町時代には農村の自衛や管理のために「惣（惣村）」と呼ばれる自治組織が発達しました。惣では寄合を開いて村の掟を定め、水利管理や年貢の未納分を村全体で責任を持つなど、強い連帯感を持って運営されました。一方、交通や商業の発展に伴い、馬を利用して物資を運ぶ「馬借」や、牛を利用する「車借」といった運送業者が活動を広げました。「問（問丸）」は主に港湾などで物資の保管や輸送の仲介、卸売りを担った業者を指します。